

# 気仙沼 NN 通信

「気仙沼 NN 通信」は、気仙沼地方振興事務所農業農村整備部の広報広聴活動の一環として、主に気仙沼管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせするものです。掲載内容についてお問い合わせなどありましたら、お気軽に当部（換地・用地チーム）まで御連絡ください。

## ……事務所移転及び名称変更について……

平成 29 年 10 月 10 日(火)に宮城県気仙沼地方振興事務所南三陸支所は、事務所移転及び組織改編に伴い、**宮城県気仙沼地方振興事務所農業農村整備部**となりました。今後とも宜しくお願いたします。



新庁舎外観



部内の様子（庁舎 3 階南側）

## 【 農地海岸災害復旧工事 : L1 堤防の完成 】

当事務所では、管内 19ヶ所で農地海岸災害復旧工事を進めており、このうち清水（1）地区（南三陸町志津川）と草木沢地区（南三陸町歌津）でそれぞれ「L1 堤防」が完成しました。両地区は、平成 23 年東北地方太平洋沖地震災害による被害が著しく地盤沈下が生じるなど海岸堤防の機能が損なわれ、早急に復旧工事を行う必要がありました。

「L1 堤防」は、発生頻度の高い津波（数十年から百数十年に一度程度）への防災対策として整備されました。たとえ施設最頂部を超える高い津波に対しても、全壊する恐れが低く避難時間の確保が可能な、粘り強い構造となっています。



清水（1）地区



草木沢地区（防潮堤や船揚場との一体型）

## 【 農地海岸災害復旧工事 : 高所法面掘削機による工事施工 】

登米沢地区農地海岸災害復旧工事では、通常の掘削機械で届かない切土施工について「高所法面掘削機」を使用しました。登米沢地区の法面は、急傾斜な上に崩落が相次ぐ危険な状況であったことから、無人の高所法面掘削機を崖上の重機 2 台（アンカー）からワイヤーロープで吊して、オペレーターが遠隔操作で掘削を進めました。また、船尻地区農地海岸災害復旧工事では、「ケーブルクレーン（索道）」を使用した施工を行いました。ケーブルクレーンは、空中に架け渡したワイヤーロープに搬器を懸垂して荷物運搬する施設のことです。狭隘かつ急峻な地形条件でも資材運搬やコンクリート打設などを安全かつ効率的に行うことができます。

これらは、農業土木分野であり施工例のない工法でしたが、現場条件及び作業上の安全性、経済性などを考慮して採用しました。



登米沢地区：高所法面掘削機による切土施工



船尻地区：狭隘かつ急峻な地形  
ケーブルクレーン本体

## 【 農山漁村地域復興基盤総合整備事業（ほ場整備） : 気仙沼地区（杉ノ下工区）& 南三陸地区（廻館工区） 】

当管内では、農山漁村地域復興基盤総合整備事業（ほ場整備）として 2 地区（10 工区）で工事が進められ、農地集積と土地の整序化により、30~50 アールに整備した農地が誕生しています。このうち杉ノ下工区（気仙沼地区）では、5 月にシーサイドファーム波路上（株）により東日本大震災後に初めて作付けされた「南三陸ねぎ」が順調に生育し、10 月から収穫の時を迎えました。ねぎの作付面積は 3 ヘクタールでしたが、今年は 8 ヘクタールに拡大される計画です。また、イチゴ栽培も始まります。

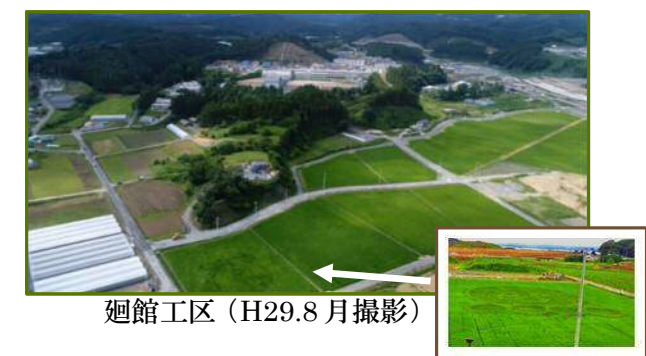
廻館工区（南三陸地区）では、廻館営農組合により約 7 ヘクタールの水田で水稻が作付けされ、その一画において田んぼアート「オクトパス君」が描かれたことも地域話題となりました。



杉ノ下工区：ねぎの収穫



南三陸ねぎ



廻館工区（H29.8 月撮影）

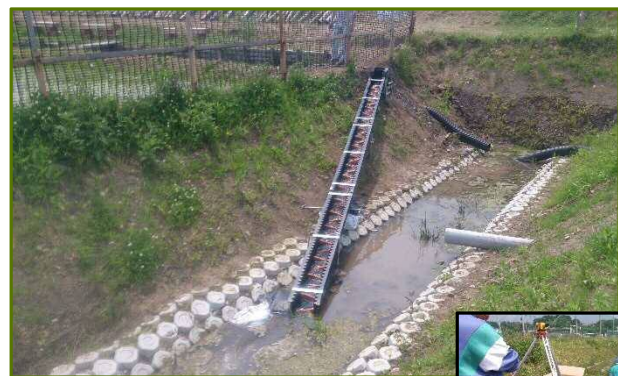


田んぼアート



### 【農山漁村地域復興基盤総合整備事業（ほ場整備） ： 気仙沼地区（大谷工区）の水田魚道】

気仙沼地区「大谷工区」で、6月30日、気仙沼市立大谷中学校3年生（10名）が環境学習活動の一環として、水田や用水路の間で生きものの往来が可能となる「水田魚道」を設置しました。大谷工区と大谷中学校の学校田の間に生じた約2メートルの段差が生きものの往来を阻む状態でしたが、約6メートルの角型U字溝を設けることでその解消を図りました。水田魚道には、さまざまな工夫を凝らしており、下流側からの遡上も可能なほどの柔らかい水流を実現しています。



設置された水田魚道



組み立て作業の様子

### 【気仙沼市赤岩地区への住民活動支援事業】

当事務所では、現在、気仙沼市赤岩地区で中山間地域等農村活性化事業の一環としてNPOを活用した住民活動支援事業を進めています。昨年9月に開催した2回のワークショップを皮切りに、赤岩地区が「中山間地域」として抱える問題・課題への解決・対策の実現に向けて、「草刈りデモンストレーション」や（先進地視察による）「意見交換会」などを開催しました。



ワークショップの様子（9月）



草刈りデモンストレーション（11月）

赤岩地区の地域住民の方々からは、特に「草刈りへの負担」に関する不安や要望が数多く寄せられており、これを受けて「草刈りデモンストレーション」（11月）では、斜面用草刈機械の性能と森林組合委託による草刈りを比較・検証しました。JA山形中央会との意見交換会（12月）では、全国的にも注目されている取り組み「草刈り隊」活動及び支援事業について活発な情報交換を行いました。

今回は、これまでの成果について取りまとめた上で「成果発表会」を開催する予定ですが、中山間地域直接支払制度における次期対策（平成32年度以降）の策定に向けてその一助となりますよう今後もこのような住民活動支援事業を進めてまいります。



JA山形中央会との意見交換会（12月）

### 【水田の生きもの観察会】

6月29日、南三陸町入谷地内で南三陸米地産地消推進協議会の主催により、水田とその周辺に生息する生きものについての観察会が行われました。入谷小学校の児童13名の他、JA南三陸の関係者など計30名の方々が参加しました。参加児童の皆さんは、生きものを発見する度に歓声をあげていました。稲の生育の様子と生きものとの関係を考える良い機会となったようです。その後、南三陸米の試食会として「おにぎり」が振る舞われ、参加者全員がその美味しさに顔をほころばせていました。



あぜ道・水路での採集



南三陸米の試食会

### 【水土里の恵みカードの作成・配布】

宮城県は、このたび「水の恵みカード」&「水土里の恵みカード」（計8種類）を作成しました。これらのカードは、県内各地域の農産物と、農業水利施設または農地整備事業などについて紹介するものです。

当事務所では、このうち2種類の水土里の恵みカードの配布を行っています。上側・緑色のカードは「南三陸ねぎ」、下側・オレンジ色のカードは「南三陸米ひとめぼれ」をテーマに作成したものです。

当事務所の他に気仙沼農産物直売所「果菜好（なかよし）」、道の駅「大谷海岸」、気仙沼市役所（農林課）、南三陸町役場（農林水産課）でも配布しています。また、管内ごとにそれぞれの特色を活かしたカードを作成・配布しておりますので、ぜひ集めてみてください！



水土里の恵みカード  
「南三陸ねぎ」



水土里の恵みカード  
「南三陸米ひとめぼれ」

宮城県気仙沼地方振興事務所農業農村整備部（編集：換地・用地チーム）  
〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6  
TEL：0226-25-8075  
FAX：0226-22-1608  
URL：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-m/



だて正夢

平成30年秋本格デビュー